

えべつ 市議会だより

令和7年8月1日発行

No.162

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話(011)381-1051

編集 議会広報広聴委員会

印刷 江別印刷業協同組合

市議会の新しい構成が決まりました



現在の議員任期が残り2年の折り返しを迎え、各常任委員会の委員など、市議会の構成が変わりました。本会議場の議席も変更となり、新しい議席となりました。

- | | |
|--------------------------|--------|
| ◇特集 議長及び副議長就任等のお知らせ | P2～3 |
| ◇令和7年第2回定例会の概要 | P4～5 |
| ◇12人が登壇 一般質問 | P6～10 |
| ◇特集 委員会の概要、政策形成サイクルがスタート | P10～11 |
| ◇活動状況をお知らせ 委員会のページ | P12 |

次期定例会の開催予定

- 第3回定例会
9月2日～9月18日
- 各委員会
9月3日～9月8日
- 一般質問
9月10日～9月12日

※日程は予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会ホームページ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会
ホームページ

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。
また、ホームページに音声データをアップしております。

【詳細】障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

議長及び副議長の就任

令和7年第2回定例会において、選挙が行われ、議長に野村尚志議員が、副議長に徳田哲議員が就任しました。



議長 のむら ひさし 野村 尚志



副議長 とくだ さとし 徳田 哲

就任挨拶

私たちは、さきの定例会におきまして議長、副議長に選出され、その重責に身の引き締まる思いでございます。

公正公平な議会運営に努めるとともに、各種の議会改革を進めながら、市民に開かれた議会を目指してまいります。

また、市立病院の経営健全化をはじめ、新庁舎の建設や子育て環境の充実など山積する市の課題についても、議論を深めながら、しっかりと取り組んでまいります。

一層の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市議会の議長及び副議長の就任のほか、会派構成と委員会構成が変更しましたのでお知らせいたします。

議長及び副議長就任等のお知らせ

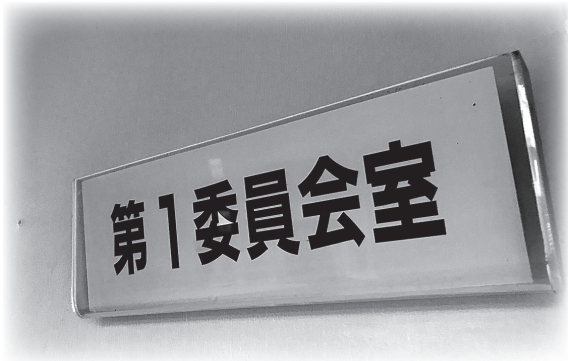
会派構成

えべつ地域創生の会に所属していた高柳議員が会派を離脱し、無所属となりました。
そのほか、各会派の役職変更がありました。

会派名	政和会	公明党	民主・市民の会	えべつ地域創生の会	日本共産党議員団	無所属	無所属
会 長	島田 泰美	奥野 妙子	佐々木聖子	岡 英彦	団長 吉本 和子	岩田 優太	高柳 理紗
幹事長	石田 武史	長田 旭輝	稲守 耕司	猪股 美香	高橋 典子		
会 計	野村 和宏	三吉 芳枝	吉田 美幸	鈴木 誠	(団長兼務)		
	高間 専逸	石川 麻美	内山 祥弘	本間 憲一			
	野村 尚志	徳田 哲	干場 芳子				
	芳賀 理己						
	藤城 正興						

委員会構成

各委員会の構成が変わりましたので、お知らせします。



	議会運営委員会	常任委員会			
		総務文教	生活福祉	経済建設	予算決算
委員長	石田 武史	猪股 美香	芳賀 理己	高間 専逸	干場 芳子
副委員長	本間 憲一	奥野 妙子	佐々木聖子	稲守 耕司	藤城 正興
委員	稲守 耕司	石田 武史	石川 麻美	岩田 優太	猪股 美香
	猪股 美香	高橋 典子	内山 祥弘	岡 英彦	岡 英彦
	奥野 妙子	野村 和宏	島田 泰美	長田 旭輝	奥野 妙子
	長田 旭輝	干場 芳子	鈴木 誠	高柳 理紗	長田 旭輝
	高橋 典子	本間 憲一	三吉 芳枝	徳田 哲	佐々木聖子
	野村 和宏	吉田 美幸	吉本 和子	藤城 正興	島田 泰美
	藤城 正興				野村 和宏
	干場 芳子				芳賀 理己
					三吉 芳枝
					吉本 和子

議会広報広聴委員会

委員長	稲守 耕司
副委員長	石川 麻美
委員	岡 英彦
	島田 泰美
	高橋 典子
	高間 専逸
	芳賀 理己
	三吉 芳枝
	吉田 美幸

委員会の傍聴にお越しく下さい

各委員会は、原則どなたでも傍聴することができます。

委員会の開催予定は、日時などが決定次第、江別市議会のホームページ「会議日程」のページに掲載しますので御確認ください。

傍聴の際は、市役所本庁舎3階の議会議事事務局までお越しく下さい。

江別市議会の仕組みについては、10～11ページを御参照ください。

第2回定例会は6月10日から6月25日まで16日間の会期で開かれました。

令和7年
第2回

定例会

- 議案20件(一般会計補正予算など)
- 諮問4件
- 選挙4件
- 意見書案8件
- 陳情1件
- 報告12件

主な議案の内容についてお知らせします。



市立病院、再診時選定療養費を新設！

条例

◎市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税において、特定親族特別控除を創設するほか、固定資産税において、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る減額措置について、区分所有者からの申告がなくても、当該マンション管理組合の管理者等から必要書類の提出があれば、減額措置が適用できるよう手続を見直すことなど、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。



◎市立病院使用料及び手数料条例の一部改正

将来的に地域の医療機関との機能分化・連携を一層推進するため、他の医療機関へ紹介後、患者さまの希望で市立病院を再度受診する場合に徴収する再診時選定療養費を新設するほか、安全で確実な出産医療体制を維持していくため、助産料について、分娩料金に時間外・深夜・休日の対応に要する費用の一部を加算するなど、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

人事

◎人権擁護委員候補者の推薦

◇河瀬めぐみ氏の推薦を可と答申

◇大原永利子氏の推薦を可と答申

◇杉本優子氏の推薦を可と答申
◇青山波留樹氏の推薦を可と答申

◎石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙

◇野村尚志議員、徳田哲議員が当選

◎石狩教育研修センター組合議会議員の補欠選挙

◇猪股美香議員が当選

◎教育委員会教育長の任命

◇黒川淳司氏の再任に同意

◎教育委員会委員の任命

◇松田久美氏の任命に同意

◎監査委員の選任

◇内山祥弘議員の選任に同意

予算

◎一般会計補正予算(第1号)

国等の予算動向による変更等の措置のほか、その他緊急を要するものへの措置として、旧江別小学校跡地の利活用に向けた現況測量等に要する経費や介護施設等のエアコン設置に対する補助金の支出等に要する経費の追加などにより、4千270万8千円を増額し、予算総額は、588億3千270万8千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎下水道事業会計補正予算(第1号)

国の令和6年度予備費を活用した大規模下水道管路特別重点調査等事業の実施に伴う所要の措置として、管路の重点調査を行うため、

4千937万2千円を増額するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

陳情

■不採択となった陳情

◎江別市議会議場に国旗及び市旗の掲揚を求めることについて

片桐清実氏

採決の結果、採択・趣旨採択・不採択がいずれも過半数に達しなかったため、不採択とすることに決しました。

報告

◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラワートクニカえべつの令和6年度決算に関する書類
市が出資している公社や財団、株式会社の令和6年度決算が報告されました。



議案・議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。

そのほか本定例会に提出された議案

件 名	議決結果
財産の取得(除雪ドーザの購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(小中学校指導者用タブレットコンピュータの購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(小中学校学習者用タブレットコンピュータの購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(水槽付消防ポンプ自動車の購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(消防ポンプ自動車の購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(はしご付消防自動車重整備取替キットの購入)	原案可決(全員一致)
八幡最終処分場盛土工事請負契約の締結	原案可決(全員一致)
江別太南大通り整備工事請負契約の締結	原案可決(全員一致)
都市計画税条例の一部改正	原案可決(全員一致)
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
野幌駅周辺土地地区画整理事業施行条例の廃止	原案可決(全員一致)
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	原案可決(全員一致)
米価高騰の抑制及び米の安定供給に向けた取組を求める意見書	原案可決(全員一致)
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	原案可決(全員一致)
ゲノム編集技術応用食品の安全性審査の実施や表示を含めた消費者への情報提供の在り方について改めて検討を求める意見書	原案可決(全員一致)
高額療養費制度の見直しに向けた丁寧な検討等を求める意見書	原案可決(全員一致)
地域医療を守るため緊急対策の実施を求める意見書	原案可決(全員一致)
地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決(全員一致)
教育関連予算の確保及び拡充を求める意見書	原案可決(全員一致)
専決処分につき承認を求めること(市税条例の一部改正)	承認
専決処分につき承認を求めること(国民健康保険税条例の一部改正)	承認
専決処分(交通事故に係る損害賠償額の決定)	報告済
専決処分(交通事故に係る損害賠償額の決定)	報告済
一般会計予算継続費の繰越報告	報告済
一般会計予算繰越明許費の繰越報告	報告済
水道事業会計予算の繰越報告	報告済
下水道事業会計予算の繰越報告	報告済

質問席

議員が市政をただす

一般質問

今定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。
誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。
※二次元コードを読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。

※SIB・・・民間事業者が実施した事業に自治体が成果報酬を支払う仕組み



公明党
おくの たみこ
奥野 妙子 議員



質問 健診受診率向上を目指し、SIB（ソーシャルインパクトボンド）の導入検討を

質問 市の強みである大学との連携など、地域資源を生かしてSIB導入の可能性を広げ、健診受診率の向上を目指してはどうか。

答弁 SIBは、財源を有効に活用できる利点があるとともに、従来の方法では解決が難しい課題について、民間のアイデアを用いて解決する一つの手法である。

一方で、導入後の事業の継続性という点では課題があるものと考えることから、引き続き、現行の取組の実施と評価を行うとともに、先進事例の調査・研究も続けながら、より効果的な方法を検討していきたい。

260メガヘルツ帯のデジタル防災行政無線の導入を

質問 災害時の通信手段の多重化を図るためにも、移動系無線の導入に向けて前向きに検討してはどうか。

答弁 市では、市内小学校にIP告知システムを活用した防災行政無線を整備するほか、18箇所の指定避難所に特設公衆電話を整備する予定であり、まずはこれらの取組の効果を検証する必要がある。

260メガヘルツ帯のデジタル防災行政無線は、有効な通信手段の一つであることから、ほかの新たな手段も含め、国の支援の状況を注視しながら、通信手段の確保について研究していきたい。



えべつ地域創生の会
おか ひでひこ
岡 英彦 議員



中期財政見通しの資料
なるべく「漏れなく、ダブリなく」

質問 具体的でなくても、対象となる可能性のある投資的経費はなるべく網羅して、資料に記載すべきでは。

答弁 中期財政見通しでは、今後10年間の投資的経費や公債費等の推計を記載している。

将来的には整備の必要性があるものの、実施年度や事業費が未定のは資料に記載していないが、多くの施設が老朽化している現状を踏まえると、できるだけ幅広く推計する必要があると認識している。

今後は、年度や事業費を固定せずに事業内容のみを記載するなど、記載内容の変更について検討したい。

市民生活を支える基本的なインフラ
上下水道の適切な管理は不可欠

質問 これまでに道路陥没事故の抑制につながったと考えられる具体的な取組はあるか。

答弁 市では、水道管の使用可能年数を、国の基準や市が実施した腐食状況等の調査結果などから、法定耐用年数の1.5倍に当たる60年程度と想定している。

これまで各種点検のほか、常に管の状態把握に努め、発見された破損箇所も適切に対応してきたことから、重大な事故につながる陥没事故は発生しておらず、取組の効果が現れていると認識している。



日本共産党議員団
高橋 典子 議員
たかはし のりこ白線の塗り直しと路面凍上への対応
道路の安全のため計画的な対応を

質問 市民の安全を守るために、道路管理に十分な予算を確保し、細やかに対応すべきでは。

答弁 消えかかった白線は、交通量の多い幹線道路を優先的に塗り直しを進めているほか、春先に多く発生する路面凍上は、道路パトロールや市民からの情報提供を基に、危険な箇所を緊急的に補修している。

このように、優先性や緊急性を勘案しながら、限られた予算内で、効果的かつ迅速な対応に努めており、引き続き、安全な交通環境を守るための道路管理に取り組んでいきたい。

大麻駅跨線人道橋の架け替え工事
一日も早い工事着手と完成を

質問 バリアフリーが未対応で、かつ老朽化が進む大麻駅跨線人道橋の架け替え工事について、市の考えは。

答弁 これまでもJR北海道との協議は進めてきたが、新幹線事業の影響による人手不足により、架け替え工事の基本協定の締結には至っていない状況である。

今年の協議の中で、近年中の基本協定締結を前提とした調整を進めており、引き続き、工事の早期着手に向けて、協議を進めていきたい。

このほか、物価高騰から市民の暮らしを守る取組について、北海道バレービジョン協議会への参加について質問がありました。

政和会
藤城 正興 議員
ふじき まさあき土地改良や農業基盤整備には農業委員
の活動がますます重要に

質問 農地の大区画化と土地の集積に深く関わる農業委員の重要性や役割を、どのように認識しているか。

答弁 スマート農業の効果をより高めるには、圃場の大区画化や農業用道路の拡幅などの基盤整備が重要であることから、昨年度に策定した地域計画において、効率的かつ安定的な農業経営の担い手への農地集積を進めることとしている。

また、農業委員の役割としては、農地等の利用関係の調整に関する審査や、担い手への農地利用の集約化などの活動があると認識している。

江別の貴重なブランド
存続危機にあるえぞ但馬牛の生産振興を

質問 えぞ但馬牛の半世紀にわたる生産の歴史をどのように評価し、発展させていく考えか。

答弁 市では、えぞ但馬牛のブランド化を支援するため、優秀な精液や受精卵の購入費用、繁殖牛を生産農家に留め置く自家保留や受精卵移植に要する費用の一部を補助している。

生産者の高齢化や経費の高騰などから、年間出荷頭数は大きく減少しているが、引き続き、品質保持や生産の維持に向けて、江別和牛生産改良組合やJA道央などと協議していきたい。

民主・市民の会
佐々木 聖子 議員
ささき せいこ新栄団地内にある余剰地
現時点での利活用方針の見通しを

質問 計画当初は、余剰地を社会福祉施設等誘導用地としていたが、現時点での活用の考えは。

答弁 余剰地を含む野幌駅周辺は、生活利便性が高く、昨年策定した江別市都市計画マスタープランでは、中心市街地と位置づけている。

新栄団地建替基本計画の策定から15年が経過し、環境が大きく変化したことから、余剰地についても、中心市街地にふさわしい活用を進める必要があるため、利活用の方向性が定まった段階で、適宜、自治会などに報告していきたい。

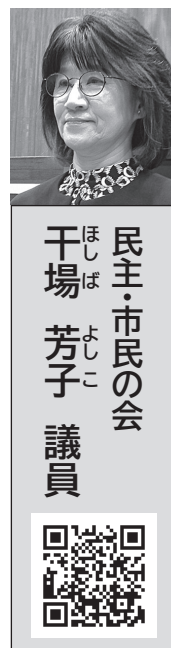
新栄団地内にある余剰地
幅広く意見を聴き、速やかな利活用を

質問 余剰地の活用には、市民の意見を聴くことが重要だが、今後の進め方は。

答弁 現段階では、土地の利活用についての具体的な内容は未定であるが、中心市街地としての土地利用に向けて、医療・福祉・商業・行政など幅広い事業者へのヒアリングを実施したい。

具体的な時期は未定だが、今後は江別市公有地利活用基本方針に基づき、全庁的に余剰地の活用計画を確立し、方策を検討した上で、速やかな利活用に向けて取り組んでいきたい。





民主・市民の会
ほしば よしこ
干場 芳子 議員



公共施設の老朽化対策は大きな課題 実効性のある取組を

質問 計画に基づく公共施設の管理を、着実に実効性を持って進めるためには、既存の庁内連絡会議のほか、別の会議も必要なのは。

答弁 市では、公共施設の管理に関する基本的な考え方を公共施設等総合管理計画に定め、この計画を指針として、個別の施設計画を策定している。

各施設は、設置目的や取り巻く状況が異なることから、その在り方については、所管部署の個別的かつ具体的な検討結果を踏まえた上で、庁内連絡会議の中で、改めて検討していきたい。

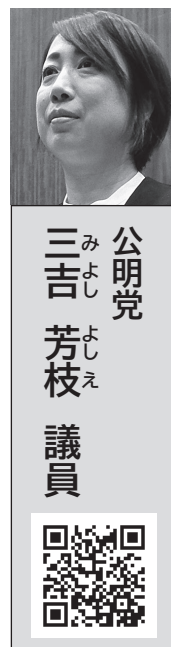
ひとり親家庭の支援のため、より分かりやすい情報提供を

質問 ひとり親家庭への情報提供として、ひとり親家庭を支援しているNPO法人の情報も有効なのは。

答弁 時間的制約が多いひとり親家庭が、様々な情報を効率よく入手し、必要な支援を受けて生活の安定を図ることや、子育てや家事などのサポートを受けることは重要であると認識している。

市では、当事者を支援するNPO法人などの団体も相談先として有効だと考えていることから、今後もしっかりやすい周知を工夫したい。

このほか労働者協同組合法について質問がありました。



公明党
みよし よしえ
三吉 芳枝 議員



今後も進む気温上昇 さらなる熱中症対策が必要

質問 既に行っている取組のみならず、今後はさらなる周知と啓発を含めた熱中症対策が必要では。

答弁 熱中症は、適切な対策によって予防可能な病気でもあり、市民への情報発信が重要である。

これまで、市ホームページや広報誌、地デジ広報を活用して熱中症予防対策の周知を図っているほか、暑さからの退避場所として、市内公共施設などにクールシェアスポットを開設していることを公表している。

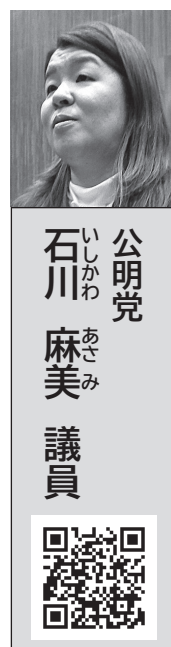
今後も啓発活動を進め、新たにLINEを活用した情報提供をするなど、熱中症対策に努めていきたい。

環境への配慮の側面も 新庁舎に給水スポットの設置を

質問 マイボトルへの給水が可能な給水スポットは、市が目指す環境に配慮した取組にもなるため、新庁舎に設置するべきでは。

答弁 新庁舎建設の基本設計における環境への配慮については、あくまでも建物で消費する一次エネルギーの削減について定めたものである。

新庁舎では、多目的スペースを、クールシェアスポットとして利用することを想定していることから、熱中症対策や環境施策の視点を踏まえ、給水スポットの設置を検討したい。



公明党
いしかわ あさみ
石川 麻美 議員



AIロボットを教材に取り入れ、多面的な教育的効果を

質問 AIロボットとの触れ合いは、子どもたちの情操教育と学習に効果があるため、教材に取り入れては。

答弁 市教委では、えべつ未来戦略の指標の一つに児童生徒の自己肯定感を設定し、その向上に努めている。

また、子どもたちが、なりたい自分を思い描き、将来の夢や目標を持つことは、学校教育で重視しており、効果が期待できる教材は、導入の検討が必要である。

しかしながら、AIロボットに限らず、新たな教材を導入する際には、費用対効果や教員の体制等なども含めて、慎重に判断する必要があると考えている。

長期化する避難所生活を想定した宿泊型の訓練の実施を

質問 実践的な避難所生活訓練の実施は、非常時の想定外を減らすことに有効と考えるが、市の考えは。

答弁 避難所生活訓練は、避難所生活を体験し、実際に近い環境を知ること、日頃の備えを考えるきっかけとなり、避難所利用の抵抗感を軽減する効果がある。

市では、これまで、炊き出しや宿泊訓練を実施して課題を抽出し、運営マニュアルに反映してきたところであり、避難所生活訓練は、訓練メニューの一つであることから、地域の意見を聴きながら、内容を検討していきたい。





えべつ地域創生の会
いのまた
猪股 美香 議員



商店街の活性化のため、空き店舗対策の取組の拡大を

質問 チャレンジショップやポップアップストアへの補助を加速させるために、商店街だけでなく出店希望者側へのアプローチも必要なのは。

答弁 チャレンジショップは、空き店舗を利用して期間限定で経営を試すもので、ポップアップストアは、既存施設の通路等に期間限定で出店する販売形態をいう。これらは、店舗所有者の了承が必要であるほか、商店街団体にも費用負担が発生することから、市では、商店街団体への周知に努めており、今後、出店希望者から相談があった場合は、きめ細かに対応したい。

市内団体の子どもの居場所づくり事業 民間の助成制度の活用へ理解を

質問 子どもの居場所づくりを進めるため、自治体との協力届出が必要な助成制度の活用を後押ししては。

答弁 市では、第3期江別市子ども・子育て支援事業計画に基づき、多様な居場所づくりを推進していくこととしており、市内の様々な団体の多種多様な活動に對しても、支援に取り組んでいく必要があると考えている。

民間が実施する助成事業も、国の指針などと照らし合わせながら、多様な居場所づくりに有効であると考えられる取組には、支援していきたい。



無所属
いわた ゆうた
岩田 優太 議員



市立病院は自助努力でさらなる経営改善を

質問 市立病院が経営改善を目的とした、経費削減や診療報酬改定についての喫緊の戦略はあるか。

答弁 市立病院では、経費削減のために多職種連携のプロジェクトチームを立ち上げたほか、市内医療機関との共同購入による材料費削減の研究も進めている。また、診療収益を改善させるため、介護家族の負担軽減を図るレスパイト入院や、市内医療機関と共同で入院患者の診療をするオープン病床の導入などに取り組んでおり、引き続き、経営健全化に向けた新たな改善策の積極的な導入に努めていきたい。

市立病院は民間医療機関とのアライアンスの推進を

質問 市立病院が地域医療連携推進法人の設立に向けて協議していく中で、さらに踏み込んだ資本提携や統合を考えているか。

答弁 地域医療連携推進法人は、地域における医療機関の機能分担や業務の連携を目的とした法人であり、地域全体で、医療の質や経営効率を向上させる効果が期待できる。

市立病院では、現在、この法人の設立準備に着手した段階であるため、まずは設立に向けた取組を着実に進めていきたい。



政和会
のむら かずひろ
野村 和宏 議員



新庁舎でのDX化 窓口サービスの向上と業務の効率化を

質問 新庁舎の建設にあたり、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の導入と、窓口のレイアウトなどをどのように関連づける予定なのか。

答弁 新庁舎の窓口は、庁内連携によるワンフロアサービスを基本とし、ライフイベントに関する手続は、ワンストップサービスとする計画としている。

新庁舎の建設は、市民サービスの向上と、職員の業務効率化につながる大きなチャンスと捉えていることから、デジタル技術を活用した窓口サービスの在り方の検討を進め、これからの設計に反映させていきたい。

自主財源確保の手段として、ネーミング ライツの導入を

質問 ネーミングライツは自治体の負担を減らし、企業側にも宣伝効果を高めるなどのメリットがあるため、導入すべきと考えるが、市の認識は。

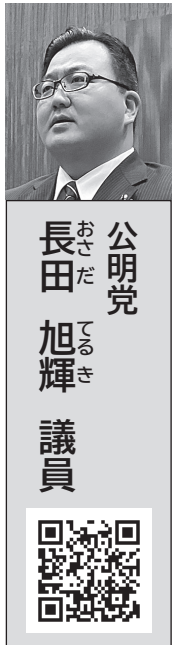
答弁 ネーミングライツの導入は、市にとって自主財源を確保する一つの手段であるとともに、保有する資産の有効な活用策になり、企業にとっても社会貢献によるイメージアップが見込まれるものと認識している。

市内の道立施設でも、導入に向けた動きがあることから、先進事例を参考にしながら、検討していきたい。



※アライアンス・・・異なる企業や組織が協力関係を築くこと

※ネーミングライツ・・・市が所有する施設の愛称を付与する権利を売却すること



ケアマネジャーの人材確保 危機感を持って一歩踏み込んだ取組を

質問 ケアマネジャーの人材確保についてどのような認識し、この先どのような考えで取り組むのか。

答弁 ケアマネジャーは、介護サービスを計画的かつ適切に提供するために不可欠な専門職であり、その人材確保が重要だと認識していることから、市では、今年度から介護人材確保・定着支援事業を開始した。ケアマネジャーの不足は全国的な課題であり、まずは国において処遇改善をはじめとした人材確保対策を進めることが重要であるため、全国市長会を通じて国に対する要望を継続していきたい。

介護需要の拡大に備え、ケアマネジャー の研修費用の助成を

質問 ケアマネジャーの更新研修や受験対策費用の助成を積極的に行うべきでは。

答弁 ケアマネジャーは、実務研修や5年ごとの更新研修などを受講する必要があるため、経済的な負担が大きいと伺っている。

この負担を軽減することは、人材確保の一つの方法だが、制度の中核を担う重要な職種に見合った賃金になるよう、国による処遇改善が急務である。

市では、国の検討状況を注視しながら、先進事例の調査研究をしていきたい。



江別市議会の仕組み

江別市議会の仕組みと委員会の概要について御紹介します。

本会議と委員会の関係

江別市議会は、市民の代表として選ばれた25人（定数の議員で構成し、予算や条例等、市政の重要な事項を審議、決定するなど大切な役割を果たしています。市議会における会議には、本会議と委員会があります。本会議は、議会の意思を決定する会議で、定期的

に開く定例会と必要に応じて開く臨時会があります。定例会は、年4回（2月・6月・9月・11月から）開かれます。臨時会は、必要に応じて、原則として市長が招集して開催します。

議案や請願その他の案件の最終的な決定（議決）は、本会議で行いますが、審議内容が広範囲であるため、内部審査機関として委員会

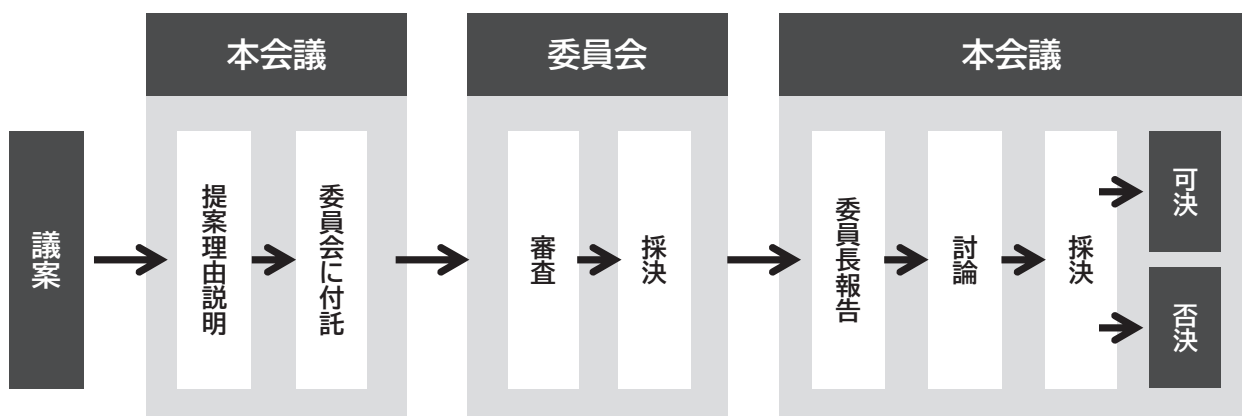
を設け専門的に審査を行います。

議案審査の流れ

市長等から提案された議案は、本会議初日で提案理由が説明され、委員会に付託されます。（内容により委員会付託が省略される場合もあります。）

委員会では、付託された議案について所管部局から説明を受け、審査を行った後、委員会として採決を行い、議案の可否を決めます。委員会で審査した結果は、委員長報告として本会議最終日で報告されます。議案に賛成、反対それぞれの立場から討論が行われた後、採決が行われ、議案の可決、否決等が決定します。

議案審査の流れ



委員会の概要

議会運営委員会(定数10人)

議会の運営が円滑に行われるように議事の順序・進め方、その他議会運営上必要な事項について協議します。

常任委員会の所管事項

総務文教常任委員会(定数9人)

総務部、企画政策部、会計課、教育委員会、監査委員、選挙管理委員会及び公平委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項

生活福祉常任委員会(定数8人)

生活環境部、健康福祉部、子ども家庭部、消防本部、市立病院の所管に属する事項

経済建設常任委員会(定数8人)

経済部、建設部、水道部、農業委員会の所管に属する事項

予算決算常任委員会(定数12人)

予算・決算及びこれに関連する事項

議会広報広聴委員会(定数9人)

…市議会だよりの発行など、議会の広報・広聴に関する事項について協議します。

特別委員会

…特定の問題について審査・調査するため、市議会で必要と認めたときに設置する委員会です。委員の定数は議会の議決で決定し、特別委員は、特別委員会に付議された事件が議会において審議されている間、在任します。

注目!

政策形成サイクルがスタート!

政策形成サイクルとは、課題の把握から始まり、計画の立案、実施、評価、そして見直しへとつながる一連の流れのことです。このサイクルを繰り返すことで、より効果的で実効性のある政策づくりを目指します。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テーマ設定			協議			調査・検証		協議	まとめ		

【今年度の各委員会のテーマ】

- 総務文教常任委員会 『不登校支援と子どもの居場所づくりについて』
- 生活福祉常任委員会 『ゴミの在り方について』
- 経済建設常任委員会 『除排雪事業について』

※11月～12月市民と議会の集い
(次回テーマ設定の参考)

今年度から新たな取組として、市民と議会の集いの意見も反映しながら進めてまいります。



活動状況をお知らせします 委員会のページ

議会運営委員会

国旗・市旗の陳情審査

任期の折り返しに当たって委員の構成が変更になりました。第2回定例会に向けて議事運営の確認を行ったほか、前期からの検討課題の申し送り事項を確認しました。

後期の検討課題については、各会派からの意見を聴いた上で協議を行います。

また、江別市議会議場に国旗及び市旗の掲揚を求める陳情の審査を行いました。陳情者からの意見陳述の後に事務局から道内35市の状況について説明を受け、討論の後に採決を行いました。採択、趣旨採択、不採択に分かれ、いずれも過半数に達しなかったため、不採択とすべきものと決しました。

総務文教常任委員会

今後の学校給食は？

本庁舎建設に係る基本設計について6月末までに完成を予定していることのほか、学校給食の在り方について12月までに基本方針案を策定し、パブリックコメントを経て今年度中に基本方針を策定する予定であるとの報告を受けました。旧江別小学校跡地の利活用の方針及び今後の予定について9月頃からプロポーザル参加事業者の公募を予定していることなどの報告を受けました。

生活福祉常任委員会

市民サービス向上へ！

超高齢社会において、可能な限り地域で受け入れられる持続的な医療提供体制を構築す

るため、江別市立病院と溪和会江別病院による地域医療連携推進法人の設立準備がスタートしたことについて、病床数適正化支援事業について、市内に分散されていた江別まちなか仕事プラザ・くらしサポートセンター江別・しごとサポートセンターコクリ・えべつ障がい者しごと相談すてらの4箇所の相談窓口を集約した「ワークサポートえべつ」の開設についてなどの報告を受けました。

経済建設常任委員会

就労相談窓口の集約化！

企業誘致における未利用地活用調査結果では新たな用地として西野幌地区の活用を優先して進め、今年度は委託業務によりインフラなどの整備案を検討すると報告がありました。

また、江別まちなか仕事プラザは、就労相談窓口4事業の集約化により、関係機関との連携や多様な相談対応の充実を図り、市民サービスの向上を目指すとのことでした。

このほか、野幌駅周辺土地地区画整理事業施行条例について、清算金の徴収業務の終了により条例に基づく運用を終えたことから、本条例を廃止するとの報告を受けました。

議会広報広聴委員会

市民と議会の集い協議開始！

令和7年第2回定例会で議員任期の折り返しを迎え、新メンバーとなった委員会では、改めて「議会広報広聴委員会の役割及び今後の進め方について」、「前任期の委員会からの申し送り事項について」の確認・協議を行いました。

また、令和6年度政務活動費のホームページでの公開について報告がありました。

現在、市民と議会の集いの開催に向けて協議を進めておりますので、詳細が決まり次第、議会だよりやホームページ等でお知らせいたします。